

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート伊都キャンパス		
○保護者評価実施期間	R6年11月25日		～ R7年12月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	R6年11月25日		～ R6年12月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R6年12月22日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達に色々な経験や体験をしてもらいえるよう、様々なイベントの計画を立て、支援を行っている。	体を動かすことを中心にしたイベントの日や、本を楽しんでもらえるようなイベントの日など、静と動のバランスを考えイベントの計画を立てている。	日常生活に必要な物を獲得できるよう、買い物支援やSSTやLSTなどのイベントを取り入れ、子ども達が楽しみながら成長できるよう支援を行っていく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所で行っている取り組みなどの周知が足りていない。	訓練当日に利用した利用者様には、連絡帳や送迎時に伝えていますが、利用していないご家庭には、開催した翌月のコールデーのお知らせとなるため、少し時間があいてしまう。	HertLinkの新しい機能として、全保護者様へ向けのお知らせが可能となったため、訓練などの取り組みを行った日に情報発信を行い、周知していく。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 チャイルドハート伊都キャンパス

公表日 R7年2月15日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・利用者数やイベントの内容により、部屋を分けて支援を行っている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	・安全に階段の昇り降りが行えるよう、見守り・声掛けを行っている。	・事業所入口が2階にあるため、完全なバリアフリー化は難しい。エレベーターの設置もないため、車椅子での利用が課題である。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・掃除点検表を使用し、毎日掃除を行っている。 ・3段BOXを活用し、教材などの整理整頓に努めています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・毎月、職員で話し合いを行う時間を設けています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	・第三者委員は設けていないが、チャイルドハート本部の評価を受け、その都度改善に努めています。	・職員に第三者委員を設けていないことの周知を行う。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・チャイルドハート本部の研修では、現地での参加が難しい場合には、ZOOMを使用した研修に参加している。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	・全職員で話し合い、支援プログラムの作成を行った。	※事業所評価アンケート実施日には、支援プログラムの公表は行っていないが、R7.1月にホームページにて公表を行った。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・毎月、職員で話し合いを行う時間を設けています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・毎月、職員で話し合いを行う時間を設けています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・チームで連携して支援が行えるよう、朝礼にてその日の活動内容や子どもへの支援方法の確認を行っている。	・申し送り書などを活用し、漏れがないよう情報共有を行い、改善に努める。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・終礼を行い、その日の振り返り・報告を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		・集団遊びや地域行事への参加など、様々な活動・体験を行ってもらえるよう、イベント計画を立て支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・玄関横の壁に、協力医療機関の書類を貼り出している。	・職員に再度周知を行う。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・学校へ毎月コッスルや利用予定表の配布を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4	※対象者なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	・学校がある日への交流は難しいが、学校休業日などに地域の行事に参加している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		・協議会へは、管理者のみ参加しているため、職員へ伝達を行っている。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・対面にて説明を行い、同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7				
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			・毎月、ニュースターの配布・Instagramにて情報発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6			・事業所への招待は難しいため、地域行事への参加や事業所周辺での活動を行い、地域住民の方との交流を図る。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7				・訓練を行った際、ニュースター・HertLink・送迎時にご家族への周知を行っている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7				・定期的に研修・訓練を行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7				※対象者なし
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7				※対象者なし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7				・安全計画を事務室に貼り出し、職員への周知を行っている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7				・ニュースターにて周知を行った。 ・ニュースターだけではなく、HertLinkを活用しご家族への周知を行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1			・ヒヤリハットがあった場合には、朝礼・終礼にて職員に周知を行い、再発防止に努めている。 ・職員に年に1回の検討会を開催することを周知し、日頃からヒヤリハットへの意識を高めてもらう。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7				・定期的に研修を行っている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				※対象者なし	